

国際

2022年

11月15日

NOVEMBER 15

注目度 ★★★★★



(AP/アフロ)

2023年に人口世界一になると予測されるインドの首都デリーのようす

# 世界の人口が80億人に到達!

アフリカのサハラ砂漠以南で人口増加が著しい。食料不足などが心配される。

## 人口が多いのはどの地域?

2022年11月15日、国際連合(国連)は世界の人口が80億人に到達したと発表しました。世界の人口は、19世紀初めは10億人ほどでしたが、20世紀に入ると急激に増え始めました。20世紀半ばにはアジアとアフリカを中心に「人口爆発」と呼ばれる急激な人口増加が起こり、1987年には50億人に達しました。

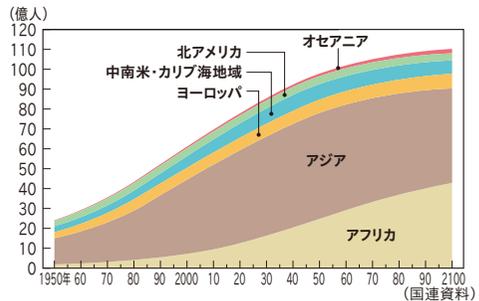
人口が増加している主な理由としては、衛生環境の改善や医療の発達、食料生産量の増加などによって死亡率が低下し、平均寿命が伸びていることがあげられます。とくにサハラ砂漠以南

を中心とするアフリカの伸びが著しく、アフリカの人口は2050年までに24億人を超え、世界人口の4分の1に達すると予測されています。

人口が最も多い地域は人口世界一の中国と第2位のインドのあるアジアで、世界人口の約6割を占めています。中国が「一人っ子政策」の影響で人口の伸びが鈍くなったのに対して、インドは人口の伸びが著しく、2023年にはインドが中国を抜いて人口世界一になると予測されています。

1位	中国	14億2589万人
2位	インド	14億756万人
3位	アメリカ	3億3700万人
4位	インドネシア	2億7375万人
5位	パキスタン	2億3140万人
6位	ブラジル	2億1433万人
7位	ナイジェリア	2億1340万人
8位	バングラデシュ	1億6936万人
	：	
11位	日本	1億2550万人

(2021年) (2022/23年版「世界国勢図会」)

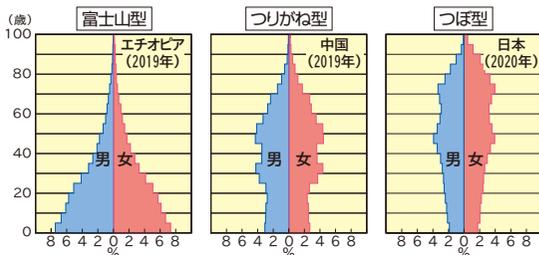


▲世界人口の推移と将来予測人口…2058年には100億人に達する。

## 先進国では人口が減少傾向

アフリカやアジアで人口が増加している一方で、日本やヨーロッパなどの先進国では、**少子化**によって人口が減少する傾向にあります。出生率の低下によって、子どもの数が減る現象。この傾向が続けば、2050年までに日本を含む61の国と地域で人口が現在より1%以上減少すると予測されています。

少子化の進んでいる国や地域では、**高齢化**が同時に進行する傾向にあります。少子高齢化が進むと労働力が不足して生産力が低下するほか、社会保障費が増加して財政が厳しくなるなどの問題が生じます。



(2022/23年版「世界国勢図会」ほか)  
▲人口ピラミッド…日本は少子高齢化が進んでいるため、生産年齢人口(15～64歳)が少なく、高齢者人口(65歳以上)の割合が高い。

## 人口が増えると、どんな問題が起こるの？

現在、世界では人口増加によって**食料・水・エネルギーの不足**や**環境の悪化**などさまざまな問題が生じています。今後、人口増加が進むことによって、それらの問題がさらに深刻化すると予測されます。また、現在の世界の人口の5割以上が都市に集中しており、**ごみの増加・交通渋滞・大気汚染などの都市問題**が発生しています。人口が増加すると、都市への人口移動がさらに進み、都市問題もいっそう深刻化すると予測されます。

### 食料不足

世界で8億2800万人、10人に1人が飢餓状態



### 水不足

安全な飲料水を手入れできない人が22億人



### 都市への人口集中

スラムに住む人が2030年に20億人に



さらに、人口増加に**教育や雇用**が追いつかず、**格差や不平等**が拡大する恐れがあります。このため、国連は格差や不平等を改善するために、人口増加の影響が大きい国々への支援を進める必要を訴えています。



## 入試に出る!『ニュースの重要点』

- ① 世界の人口…2022年11月に**80億人**に到達。2058年に100億人に達すると予測
- ② 人口が増加する地域…サハラ砂漠以南を中心とする**アフリカ**で人口増加が著しい
- ③ 人口増加による問題…**食料・水・エネルギー不足**、**都市問題**が加速する恐れ

## サハラ以南の地域の問題

アフリカのサハラ以南には、ニジェールやチャドなど最も貧困が多い。これらの地域では、労働力の確保などを目的に子ども産むことが多く、合計特殊出生率が高い傾向にある。これが急激な人口増加の背景にある。

ニジェール	6.74	アメリカ	1.64
チャド	5.55	中国	1.70
インド	2.18	日本	1.30
フランス	1.83	韓国	0.84

(日本は2021年, 他は2020年) (世界銀行)  
▲主な国の合計特殊出生率の比較

## 重要用語 合計特殊出生率

1人の女性が一生で産む子どもの数の平均値。現在の人口を維持するためには2.06～2.07必要とされる。日本では1947年は4.54だったが、1971年は2.16、1980年は1.75と年々低下している。

# 世界の人口が80億人に到達!

✓**ここが問われる**▶ 人口が多い国と地域が問われる。人口増加によって起こる問題も押さえておこう。

## 重要用語のスピードチェック 次の各問いに答えなさい。

- (1) 2022年11月、世界の人口は何億人に到達しましたか。数字を答えなさい。  
( ) 億人
- (2) 20世紀半ばにアジアとアフリカを中心に急激に人口が増加した現象を何といいますか。漢字4字で答えなさい。  

--	--	--	--
- (3) 人口増加がとくに著しいのは、( ) 砂漠以南を中心とするアフリカです。  
( ) にあてはまる語句を答えなさい。( )
- (4) 2021年現在、人口が2億人を超えているアフリカの国はどこですか。  
( )
- (5) 2021年現在、世界で最も人口が多い国はどこですか。  
( )
- (6) (5)の国でかつて行われていた、一組の夫婦につき子どもを1人に制限する政策を何といいますか。  
( )
- 最重要** (7) 2023年に(5)の国を抜いて、人口世界一になると予測されている国はどこですか。  
( )
- (8) 先進国で多くみられる、出生率の低下によって子どもの数が減っている現象を何といいますか。  
( )
- (9) 先進国で多くみられる、総人口に占める65歳以上の人口の割合が高くなる現象を何といいますか。  
( )
- (10) 1人の女性が一生で産む子どもの数の平均値を何といいますか。  
( )



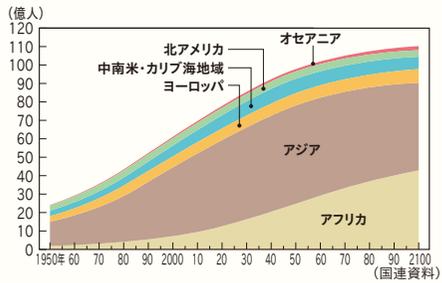
# 実戦問題にチャレンジ!

## 1 次の文を読んで、下の各問いに答えなさい。

2022年11月、国連は世界の人口が80億人に到達したと発表しました。人口が増加している主な理由としては、a 死亡率が低下し、平均寿命が伸びていることがあげられます。世界の人口は2058年に100億人に達すると予測されています。これに伴い、b 現在も人口増加によって生じているさまざまな問題がさらに深刻化すると考えられています。

世界全体の人口が増加する一方で、少子化によって日本やヨーロッパなどの先進国では人口が減少する傾向にあります。

- (1) 右のグラフは世界の人口の推移と将来予測人口を表しています。このグラフを参考に、世界の人口について述べたものとして適切ではないものを次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。



ア 現在、世界で最も人口が多い地域はアジアで、世界人口の6割を占める。

イ サハラ砂漠以南を中心とするアフリカで人口増加が著しく、アフリカの人口は2050年までに世界人口の4分の1に達すると予測される。

ウ 世界の人口は2050年ごろにピークを迎え、その後減少していくと予測される。

エ 20世紀半ばにアジアとアフリカを中心に人口爆発が起こった。

文章記述

- (2) 下線部 a について、死亡率が低下している理由を1つ答えなさい。  
 (3) 下線部 b について、人口増加によって生じている、または将来起こると心配される問題として適切ではないものを次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア 都市への人口集中が進み、スラムに住む人が増加する。

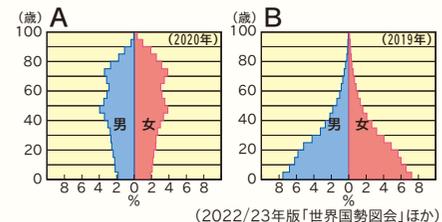
イ 食料不足が起こり、飢餓に苦しむ人々が増える。

ウ 人口増加に教育や雇用が追いつかず、格差や不平等が拡大する。

エ 少子化傾向が進んで労働力が不足し、生産力が低下する。

文章記述

- (4) グラフAとBは、エチオピアと日本のいずれかの人口ピラミッドです。このうち日本の人口ピラミッドを記号で選び、選んだ理由を答えなさい。



(2022/23年版「世界国勢図会」ほか)

(1)		(2)	
(3)		(4) 記号	
理由			

# 1 世界の人口が80億人に到達！

## 重要用語のスピードチェック

- |         |              |
|---------|--------------|
| (1) 80  | (2) 人口爆発     |
| (3) サハラ | (4) ナイジェリア   |
| (5) 中国  | (6) 一人っ子政策   |
| (7) インド | (8) 少子化      |
| (9) 高齢化 | (10) 合計特殊出生率 |

## 実戦問題にチャレンジ!

- 1 (1) ウ  
(2) (解答例) 衛生環境が改善したから。  
(3) エ  
(4) 記号-A
- 理由-(解答例) 子どもの数が少なく、高齢者の割合が高くなっているから。

### 解説

- (1) ウ世界の人口は2058年に100億人に達し、2080年代にピークを迎えると予測されている。現在の人口は地域別にみるとアジアが世界の6割を占めている。アジアには2021年現在、人口14億人を超える中国とインドのほか、インドネシア(2億7375万人)、パキスタン(2億3140万人)など、人口の多い国が多い。2021年現在、人口世界一は中国だが、2023年にはインドが世界一になると予測されている。
- (2) 「医療が発達したから」などでも正解。
- (3) エ先進国では少子化が進む傾向にあるが、一般的に発展途上国ではその傾向はみられず、乳幼児死亡率の低下によって子どもが増える傾向にある。
- (4) Bのエチオピアは発展途上国で、衛生環境の改善や医療の発達などによって乳幼児死亡率が低下し、合計特殊出生率も4.05(2020年)と高いため、子どもの数が多い。その一方で平均寿命は短いので、多産多死の富士山型の人口ピラミッドになる。日本のように少子化と高齢化が進む先進国では、少産少死のつぼ型の人口ピラミッドになる。